

第17号様式の2(表)

診療用粒子線照射装置設置予定届

年 月 日

(宛先)名古屋市長

病院又は診療所 所在地  
 名称  
 管理者氏名

診療用粒子線照射装置を設置しますので、医療法施行規則第25条の2の規定により、次のとおり届け出ます。

1 診療用粒子線照射装置に関する事項	製 作 者 名		
	型 式		
	定格出力	陽 子 線	(原子の種類 )
		重イオン線	
個 数			
2 診療用粒子線照射装置を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名等	氏 名	職 種	放射線診療に関する経歴
3 予 定 使 用 開 始 時 期		年 月 日	
4 診療用粒子線照射装置の放射線障害の防止に関する構造設備のあらまし	照射管容器の漏れ放射線量		
	電路開閉時の不要放射線遮蔽装置(遠隔操作装置)		
	放射線照射時の自動表示装置		
	出入口開放時の照射回路開放保持装置		
5 診療用粒子線照射装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備のあらまし	使用室の天井、床、壁、出入口の扉、窓等の遮蔽		
	出 入 口 の 数		
	放射線照射時自動表示装置		
	使用室であることを示す標識		

(裏)

6 診療用粒子線照射装置使用室の放射線障害の防止に関する予防措置のあらまし	管理区域	管理区域の設定	
		立入制限措置	
		管理区域であることを示す標識	
	注意事項の揭示等	注意事項の揭示	
		敷地内居住区域及び敷地境界の放射線量	
		患者1.3mSv/3月(診療により被ばくする放射線を除く。)以下となる障害防止措置	
		放射線診療従事者等の被ばく線量測定器具	

(併せて提出する書類)

1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用粒子線照射装置使用室の平面図及び側面図

2 遮蔽計算書

記入上の注意

- (1) 管理区域を明示してください。
- (2) 照射方向、照射管の中心から画壁等の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入してください。
- (3) 画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、診療用粒子線照射装置の定格出力を最高値にとったときの計算値とその計算式を記入してください。計算責任者の所属、職及び氏名を記入してください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。